

今年度のアンケート結果と、こびーぬ反町ルームの取り組みについてご報告します。

活動内容や、児童の個別性を考慮した支援には、良い評価を頂いています。中学生、高校生に成長したお子さんについては、社会に出ることを踏まえて、生活に必要な言葉使い、自分で考える、行動する経験を積める支援を検討していきます。

児童館との交流は、個々の学校の下校時間が違うこともあり、難しいのが現状です。休日には、地域のイベントに参加したり、公共交通機関を利用して外出したりしながら、障害のない子供達と同じ場所で一緒に時間を過ごす機会を作っています。

職員においては、現場に必要なスキルについての学びを定期的に、各々各自および集団研修などで、行っています。今年度より積極的な学習の目的として、研修システムを導入していきます。障がいやお子さんの発達段階を踏まえた知識と経験を深め、個別性のあるより良い支援を提供できるようスタッフ一人一人が努力して参ります。